

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

### 血管撮影装置2号機稼働開始

当院では、これまで血管撮影装置で、年間に検査・治療などを1170例ほど実施してきました(2010年実績)。今回あらたな機種を9月から導入し、検査・治療の拡充やバックアップ体制などの強化をいたしました。

今回導入したシーメンス社製のシングルプレーン装置(Artis Zee)は天吊り式のとてもコンパクトなつくりのうえに最先端の技術が導入されていて幅広い検査に対応しています。この装置はCTで撮影したような3D画像を作成する「DynaCT」を搭載しており、コイル塞栓術後などのCT検査をその場で撮影することが可能になり患者様負担や検査移動時のリスクの軽減になります。

#### ～どのような検査ができるのか?～

##### ・心臓カテーテル検査

この検査はカテーテルという柔らかい細い管を手首または太ももの付け根の動脈または静脈から心臓の血管(冠動脈)や心臓の中まで挿入し、心臓内の圧測定をしたり造影剤を使用して冠動脈の状態を見て狭窄部位はないか検査します。その後狭窄部位があるとバルーンやステントを用いて狭窄部位を拡張する治療をおこないます。

その他にも

- ・脳動脈瘤塞栓術
  - ・頸動脈ステント留置術
  - ・血栓除去術
  - ・ペースメーカー植え込み
  - ・シャント拡張術(PTA)
- などがあります。

今後もスタッフ一同、迅速・安全な検査、治療が行えるように努力していきます。



放射線室 前森 崇

### 2011年度医療生協強化月間 始まる!



2011年度医療生協強化月間が10月1日より11月30日の日程でスタートします。

今年の沖縄協同病院の目標は

- ①2,300人の組合員増やし、54,000口の出資金
- ②支部づくり・分割を推進
- ③月間中に班の結成
- ④医師協だより手配り者を増やす です。

それに先立ち、去る9月10日(土)に職員と組合員さんと合同で強化月間に向けた研修会も開催されました。

医療生協にまだ「加入」されていない方は是非この機会に「加入」を、すでに組合員の方は「増資」をお願いいたします。

皆様からお預かりしました「出資金」は患者様が安心して治療に専念出来るように医療機器の購入などにあてられます。

お申込みはお気軽にお近くの職員までお願いいたします。

組織委員会事務局長 照屋 瑞男

#### 病院の活動状況 <8月度>

- ・外来一日平均患者数: 725人 (前年同月比+47人)
- ・入院一日平均患者数: 273人 (前年同月比+10人)
- ・組合員利用率: 54.3%(前月比+0.5%) (前月の7月度外来一日平均患者数の前年同月比は+40人に訂正します。)

## 赤ちゃんのかゆい湿疹②

小児科 66



③最後に、「食物アレルギー」とのかかわり  
 スキンケアをしつかりして、ステロイド軟膏を正しく使っているのに湿疹が良くならなかったり、いったん良くなってもまたすぐ悪くなるような時は、食物アレルギーのかかわりを疑います。母乳しか飲んでいなくても、お母さんが食べていけば、赤ちゃんが食べたことのない食べ物でもアレルギー反応を起こして、湿疹がひどくなる場合があります。

食物アレルギーとのかかわりは、血液検査を参考にすることもありますが、大事なものは、その食べ物を避けてみて湿疹がよくなるか、食べて湿疹が悪くなるかをしっかりと確かめることです。むやみに除去すると、段々食べるものがなくなると、栄養が足りなくなってしまう。

離乳食が始まっていて、食べてすぐに、じんましんや咳、ゼーゼー、嘔吐などが出てくるような場合は、もちろんその食べ物は除去します。

ここまでの①②③をしつかりおこなってあげること、ほとんどの赤ちゃんの湿疹は良くなります。それでも良くならない場合は、お医者さんと相談しながら、それ以外の原因がないか探していくことになります。

かゆみで一番つらいのは、赤ちゃん自身です。かゆみは我慢できません。「かいちゃダメ」ではなく、「かゆみの原因である湿疹を何とかする」のが大事です。赤ちゃんの笑顔のために、あせらず、スキンケアを楽しみながら、スキンケアをおこなってみてください。

小児科 尾辻健太

医療福祉生協の情報誌 『comcom』(2011 8月号)より



# 分娩で入院された方の松花堂弁当を再開しました



旧病院では、分娩で入院された方を対象に昼食を松花堂の重箱に入れて提供しておりました。患者様、病棟スタッフから評判もよく、新病院でも早く始めてほしいとの要望がありました。今回、給食業務も一定落ち着いた9月7日から再開することができました。小さい器にいれ、色どりがよく盛られた松花堂弁当は大変好評です。

栄養管理室 管理栄養士 新垣 慶子



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

### ご意見・ご要望

送迎バスの各路線表に出発時間からおおよそ何分でバス停に着くかを、書きとめて下さると大変都合が良いのですが。

始発の時間を記入して下さいと、2巡目、3巡目は予想がつきます。高齢者に成ると忘れやすくなるので御面倒でもお願い致します。

9月9日(金) 女性 84歳

### ご返事

ご不便をおかけしております。ご意見をいただき早速、送迎バス路線表の作り変えを行っています。出発からの経過時間を記載し、何巡目でもおおよその時間がわかるように改善します。

最終の確認を行い2011年10月からは新しい送迎バス路線表を発行する予定です。

また、お気づきの点がございましたら、声をお寄せ下さい。

総務課 新垣 司

## 心療科市民講座のお知らせ

戦後66年が過ぎました。沖縄戦は多くの県民の心に傷あとを残しました。しかし今日迄、沖縄戦の残したトラウマについては正面から論じられていません。今回の公開講座では、戦争体験によると思われる不眠、悪夢、身体の痛み、うつ病などの病気や沖縄社会の心の問題のつながりを考えます。多くの方の参加をお待ちしています。

市民公開講座

### 沖縄戦のこころの傷を追って

- 中澤正夫 「広島原爆による精神的影響」
- 山城紀子 「沖縄の精神保健はどうとらえられてきたか」  
—ジャーナリストの立場から—
- 宮城晴美 「『集団自決』の傷あと」
- 富山富士子 「沖縄戦とこころの傷」—保健師の立場から—
- 蟻塚亮二 「沖縄戦の記憶と精神疾患」 脳は戦争を忘れない

日時：2011年11月5日(土) 14時～17時  
場所：JAおきなわ 真和志支店 (真和志小うら)  
※尚、駐車場に限りがございます。バス・タクシーを御利用下さい。

入場料：一般500円 学生 無料  
お問い合わせ：沖縄協同病院 心療内科 (担当：原園・神谷)  
連絡先：853-1200

主催：沖縄戦・精神保健研究会 (代表 蟻塚亮二)  
共催：エンパワメント沖縄 (代表 高嶺豊)

後援：NHK沖縄放送局 沖縄タイムス社 沖縄テレビ放送 ラジオ沖縄  
琉球新報社 沖縄協同病院 沖縄県看護協会 沖縄県精神障害者福祉会連合会  
沖縄県精神保健福祉士協会 沖縄県精神科協議会 青春を語る会  
日本科学者会議沖縄支部

心療内科 蟻塚 亮二

## 外来体制変更のお知らせ

**皮膚科** 10月より、午前の受付終了時間が11時30分→11時になりました。

**泌尿器科** 10月より、外来体制が元に戻りました。

	月	火	水	木	金	土
午前	嘉手川	翁長	翁長	嘉手川		交代 (第1・3週)
午後				菅谷 (尿失禁外来)		

《診療開始時間・受付終了時間》

午前 9:00～11:00/午後 2:00～4:00

※初診の方は 問診→検査があります。(膀胱エコー 検尿等)

診察前は 排尿を控えて 11:00 までには 2F 泌尿器科外来へお越しください

※木曜日午後は、尿失禁専門外来です。

※土曜日の外来は第1・3週のみとなります。



## おきなわの自然⑰

### 冬瓜(トウガン)

沖縄の夏野菜と言えば、スイカ、キュウリ、ゴーヤー、ヘチマ、トウガン等のウリ科で体を冷やし、体調を整えるものが多い。その中でトウガンは生活習慣病予防に最適である。

トウガンは、沖縄では一昔前まで大家族用のぎっくり腰覚悟の巨大なものが普通だったが、最近では核家族用の小さいものがよく売られているようだ。トウガンは漢語の「冬瓜」(トングワン)が訛ってトウガンになったと言われる。方言ではシブイとかスブイと言つたが、これは「白瓜」(シルウイ)が訛つたものと言われる。夏が旬なのに「冬瓜」と書くのは、大変持ちがよく、夏に収穫したものが冬まで美味しく食べることができるといふことだ。

トウガンは水分が95%を占め、カロリーがコメの1/10で、利尿作用が強く、体内の水分が脂肪にならないようにするビタミンB群も含まれているのでダイエット食にはもってこいである。また、ナトリウムの排出を促すカリウムも豊富に含んでいるので高血圧を抑える働きがあり、利尿や便通を促してむくみをとるのに腎臓病にも良いと言われる。

料理法としては、豚肉・鶏肉と相性がいいのでソーキ汁やデビイチなどは欠かせない。さて、9月にどうしよう内閣が発足した。どうしようすくい踊りがうまいのかと思つたら、どうしようのように泥臭く国民のために汗をかきたいと表明したかららしい。そのどじょうは発足1カ月も経たないうちに辺野古推進の姿勢を示し、国連では「脱原発ではなく、安全性の強化」と言い切った。どじょうで庶民の味方を演じているが、これではアメリカと大企業のために汗をかかると言っているようなもの。こんな見え透いたパフォーマンスに国民は絶対にだまされないと。ナダ。



総務課 金城稲子